

野生イノシシ捕獲に係る取組状況について

1 豊橋市及び田原市における野生イノシシの捕獲頭数について（表 1、図 1）

2024年度12月末時点の野生イノシシの捕獲頭数は、豊橋市157頭（前年度同時期：239頭）、田原市240頭（同：333頭）となっている。

豊橋市、田原市ともに捕獲頭数が多かった前年度と比べ大きく減少しており、12月末時点では、2020年度とほぼ同程度の頭数で推移している。

また、県が田原市内で実施している指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲頭数は、12月末時点で22頭（同：15頭）となっている。

表 1 野生イノシシの捕獲頭数の経年推移（頭）

市／年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024※
豊橋市	268	165	121	210	316	157
内訳						
有害	220	160	111	198	303	157
狩猟	48	5	10	12	13	0
田原市	497	270	125	212	393	240
内訳						
有害	492	204	87	160	370	218
指定管理	未実施	66	35	47	15	22
狩猟	5	0	3	5	8	0
計	765	435	246	422	709	397

※2024年度は12月末時点の速報値

捕獲頭数

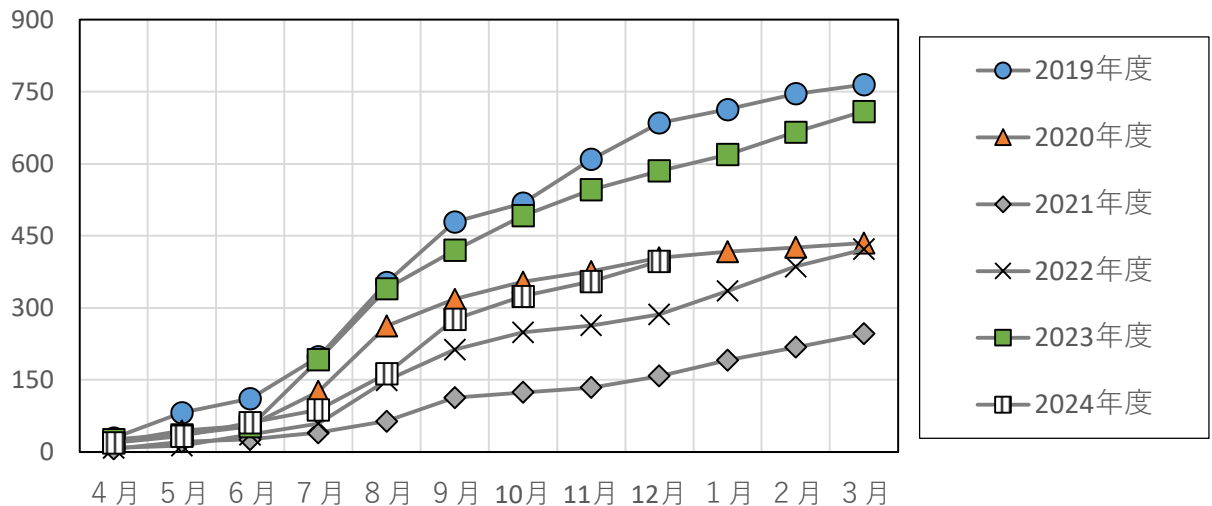


図 1 豊橋市及び田原市における野生イノシシ捕獲頭数の月別積上推移

2 30kg 以上のメスの捕獲効率について（資料 1－2）

豊橋市及び田原市において 2019～2024 年度に捕獲された野生イノシシのうち、妊娠可能と考えられる 30kg 以上のメスの毎月の捕獲頭数について、わな種別の捕獲頭数と全体の捕獲数に占める割合をとりまとめた。

2024 年度は、30kg 以上のメスの捕獲効率は例年と同様、夏季に低下し、それ以外の季節では 30%前後で推移している。また、月別の捕獲頭数のピークは例年 8 月であったが、2024 年度は 9 月となっている。30kg 以上のメス捕獲頭数も 9 月がピークとなっており、昨年度までとはやや傾向が異なっている。

例年、1～3 月は 30kg 以上のメスの捕獲頭数が増加する時期であり、およそ半数がくくりわなによる捕獲である。2024 年度は、12 月の 30kg 以上のメス捕獲頭数が 2019 年度以降最も多くなっており、くくりわなによる捕獲が増加している。1～3 月についても、くくりわなを積極的に活用することで、春期の再繁殖を抑える効果が期待できると考えられる。

3 その他（資料 1－3）

県内の野生イノシシの豚熱陽性個体確認状況について、2024 年度は 12 月末時点で 6 件と、2023 年度の 14 件（前年度同時期、通年で 19 件）と比べ、減少している。なお、2024 年度の検査頭数は 12 月末時点で 1,034 頭であり、2023 年度の 780 頭（前年度同時期、通年で 908 頭）から大きく増加している。

県内の地域ごとの捕獲頭数について、2024 年度第 2 四半期は、東三河地域を除き、県全体及び各地域で 2020 年度以降最も多い水準となっている。東三河地域については、地域内の全ての市で前年度より捕獲頭数が減少しており、他地域が増加傾向にある事と対照的な状況にある。